

〈第2次南越前町教育大綱（抄）〉
 人と文化を育むまちづくり～自ら学び考え行動し、
 ふるさとを愛する人づくりの推進～
 豊かな人間性を育む教育の充実
 ・「生きる力」を育む学校教育の充実
 ・個々のニーズに応じた教育の充実
 ・ふるさと教育の推進

令和5年度河野小学校スクールプラン

学校の教育目標
 えがお かがやく

めざす児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

めざす教師像

- えがおかがやき、教育活動に力を注ぐ教師
- 児童のよさや可能性を見つけ、伸ばそうとする教師
- 家庭や地域と協働する教師
- ワークライフバランスの整った心身ともに健康な教師

重点目標

1 楽しい学習

- 基礎基本を徹底する授業づくりの推進
- 主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの推進
- 「引き出す教育」「楽しむ教育」の推進

【具体的な取り組み】

- ◎ICT機器の活用による「わかる」「できる」「伝え合い、深める」授業づくりを推進する。
- ◎複数学年で学習するよさを生かし多様な見方ができる授業づくりを推進する。
- 読書習慣の定着を図る。

2 安心安全で笑顔あふれる学校生活

- いじめや差別のない学校づくりの推進
- すべての児童が自己有用感を持つ学校づくりの推進
- 主体的な判断力を育成する情報モラル教育や防災教育の推進

【具体的な取り組み】

- ◎アンケート、観察、休み時間の過ごし方調査など多様な方法でいじめや不登校の未然防止に努める。
- ◎児童のよさを見つけて褒める、認める学級づくりを推進する。
- すべての人の人権を認め、差別を許さない教育を推進する。
- 家庭と連携してスマートルールや感染症予防策、災害や不審者対応の主体的な判断力育成を推進する。
- 業間活動や集会などで児童が主体的に活動できる異学年交流を推進する。

3 健やかな体と豊かな心

- 基本的な生活習慣の育成
- 運動が好きになる学校体育の推進
- 居心地が良いと感じられる環境作り

【具体的な取り組み】

- ◎お便りやチェックカードを用いて家庭と連携し、早寝早起き朝ご飯、歯磨きの生活習慣を育成する。
- ◎業間運動、体育的活動等を通して、楽しく体を動かしたり運動に取り組んだりする態度を育成する。
- 生活アンケートやアセスを用いて、教育相談活動の充実を図る。

4 ふるさとへの愛着を育て、地域からの信頼・協力が得られる学校づくり

- ふるさとへの愛着と誇りをもつ児童の育成
- 情報発信による学校への信頼醸成、協力推進
- 地域や外部機関との連携によるえがおかがやく児童の育成

【具体的な取り組み】

- ◎地域の人的、物的資源を活用したふるさと学習の推進、学びの発信により、ふるさとへの愛着と誇りを育成する。
- ◎各種たより等により学校教育に関する情報を発信する。
- 学校運営協議会、外部機関と連携して、めざす児童の育成を図る。

【数値目標】

- ・ICT機器を活用した授業を通して学習内容がわかる児童80%以上
- ・友達と学習することは楽しいと感じる児童90%以上
- ・学年に応じた読書習慣を身に付けている児童80%以上

【数値目標】

- ・毎日の学校生活が楽しいと感じる児童90%以上
- ・いじめや差別が無く、自分のよさが認められていると感じる児童90%以上
- ・親子で情報機器の使い方やスマートルールを決め、実行している保護者（家庭）80%以上

【数値目標】

- ・早寝早起き朝ご飯を心がけ、毎日歯磨きをする児童80%以上
- ・体を動かすことが好きな児童80%以上
- ・みんなで協力し合ったり助け合ったりすることができる児童80%以上

【数値目標】

- ・ふるさと学習により、ふるさとがより好きになったと答える児童80%以上
- ・ふるさと学習を通して、ふるさとへの愛着と誇りを育成しようとする教師90%以上
- ・各種たより等で取り組みを積極的に発信した教師90%以上
- ・外部機関と協力して学校運営できたと答える教師80%以上

【研修テーマ】

自分の考えをわかりやすく話し、伝え合う児童の育成
 ～対話的な学びの工夫とICT活用をポイントにした授業づくりを通して～

【業務改善のための取り組み】

- ・行事や会議等の精選や効率化を推進する。
- ・ICT機器の活用等により業務の効率化を推進する。
- ・繁忙期におけるチームでの取り組みを推進する。
- ・毎週水曜日をノー残業デーとして設定する。